

科目区分・分類	専展・実験	対象学科名・学年	両専攻 1年	科目コード	79902000
科目名	特別研究 Special Study				
担当教員	特別研究 担当教員				
単位数(時間数)	必修 通年 3単位 (135時間)【学修単位】	学習・教育目標との対応	(D-2)(F-1)(G-1)		
授業の目的と概要	生産環境システムおよび電気情報システムに関する総合的な研究開発能力を育成するため、担当教員のもとで、文献調査、創造的実験、理論分析、討論などを実践する。				
先修科目					
後修科目					
備考	機械、電気電子、情報または土木工学全般にわたる知識を基礎として、研究遂行能力、プレゼンテーション能力および論文作成などを向上させることを意識しながら取り組むことが必要である。				
	授業項目	時間	内容		
1	多分野の中から興味のあるテーマを選択。	135	取り組むテーマの内容、特にその背景や具体的な問題点を把握することができる。		
2	選択分野を専門とする担当教員から個人指導を受ける。		具体的に実施すべき実験や考察、それに伴う学習や調査について理解し、計画的に遂行できる。		
3	担当教員や具体的な実施内容等は、前期開始当初に決定		研究を進める上で必要な実験装置やデータ処理法について理解し、適切に操作、使用できる。		
4	テーマ決定および研究方針についての報告会を行う。		既に学んでいる基礎的な数学や物理の知識を応用して、データ等を理論的な裏づけの下に整理できる。		
5	以後それに基づき研究を進る。		作成した研究計画書をもとにその内容を説明できる。		
6	年間の研究内容は報告書にまとめる。				
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	これまでに学習した内容を特別研究テーマに応用できることで(D-2)の達成とする。発表資料の作成および発表(プレゼンテーション)を行うことで(F-1)の達成とする。また、特別研究を継続的に行い、まとめることができることで(G-1)、(G-2)の達成とする。				

成績評価	特別研究実施に対する評価（60％）で(D-2)を評価し，プレゼンテーションに対する評価（20％）で(F-1)を評価し，報告書に対する評価（20％）で(G-1),(G-2)を評価する．ただし，各評価については，専攻科で定めた評価基準に従う．それぞれの評価において6割以上を獲得した者をこの科目の合格者とする．
教材	教科書：特別研究 担当教員による． 参考書：特別研究 担当教員による．
オフィスアワー	水曜日16：00～17：00，特別研究担当教員室．